



山崎泰昌議員

学校給食

# 完全給食実施年度は 平成25年度を目標に

**質問** 町では、早ければラ  
ンチボックス制度を平成21  
年度2学期から実施するとい  
つてきたが、困難であると  
判断し、今後、完全給食  
実施について調査・検討す  
ると方向転換した。

マニフェストにもあり、  
実施を期待していた人もい  
るので、中止に対する説明  
が必要では。

**沼崎町長** アンケート調査  
に協力した皆さんには、教  
育委員会を通じて説明した  
い。住民には、広報などを  
通じて報告する。

**質問** 今後のスケジュール  
を示すべきでは。  
**佐藤副町長** 平成21、22年

度に建設場所、運営形態、  
会計制度などの調査・検討  
23、24年度に設計および建  
設、25年度4月の実施を目  
標に行いたい。

財政計画の見直しが必要  
であり、平成23年度から始  
まる第8次総合発展計画後  
期計画に盛り込みたい。

**質問** 検討した結果、人数  
が少なくて中止にするとい  
うことはあるか。

**佐藤副町長** 平成25年度は、  
1405人の児童・生徒数  
を見込んでいたが、平成30  
年度には、1100人程度  
になる予想である。減少し  
た分は福祉関係などへの活  
用も検討していく。

## 水産振興

# 漁業者への支援策は 新たな補助制度を創設

**質問** ある漁協の営漁計画  
には、後継者または就業意  
欲のある漁業者への支援協  
力が必要と書いてある。町  
は漁業者に対し、近代化資  
金利子補給など既存の事業  
以外に新たな支援策を検討

しているか。  
**沼崎町長** 県の地域営漁計  
画推進特別対策事業があり、  
町としても上乘せ補助を行  
う。また、1事業当たり10  
万円を上限とした漁協、漁  
業者グループに補助する制

度

度を創設した。

**質問** 漁家の生活を守るた  
めの漁協だと思いが、現状  
は漁協を守ることので精一杯  
な感じを受ける。今こそ行  
政の力で漁家を支援すべき  
だと思ふ。そのためにもア  
ワビ事業などへの支援を拡  
充しては。

**内田水産振興主幹** 漁協を  
守るのが精一杯というのは  
そのとおりであるが、地域  
営漁計画をもとに頑張つて  
いる。アワビについては、  
これまでどおり調査には協  
力するが、種苗放流は各漁  
協で行ってもらいたい。

## 議員9人が一般質問



アワビ選別作業の様子（大浦地区）